

戦評用紙

平成28年度新人大会

男子決勝リーグ戦

平成29年1月22日

Cコート 第2試合

会場 : 上尾運動公園体育館

対戦

昌平 高校

12-12

22-12

12-18

17-21

7-15

埼玉栄 高校

第1シード正智深谷に善戦した昌平、初戦西武文理に快勝した埼玉栄関東大会出場を懸けた決勝リーグ第2戦。ともに好ガードを擁する両チーム2人の活躍が勝敗の鍵となるか。

第1P、栄は2-2-1ゾーンプレスからマンツーマンディフェンス。昌平はマンツーマンディフェンス。戦力的には互角か、経験を含めると昌平がやや優位かと思われるが、立ち上がりともにリバウンドシュートを決めあいその後もお互いディフェンスをがんばり残り5分で4-2とロースコアゲーム。残り3分7-7のところまで栄#14が2ファール交代。インサイドの守備が手薄になる。外角が決まらない昌平に対して栄は#7が好調、ドライブと3Pシュートを決め5点差とする。しかし昌平もリバウンダー不在となった栄のゴール下で#6が得点、フリースロー等で同点とする。

第2P、昌平#6が連続ゴール。栄は#14をコートへ。外角が決まらない昌平だが栄のスコアラー#13を徹底マークノーゴールに抑える。しかし栄は#14が三つ目のファール、一方の昌平は#4の3Pシュートが決まりだし波に乗る。残り4分29-16と点差が開く、ダブルスコアにもなりかねない状況に追い込まれた栄だが、#4・#7が果敢に攻め込み10点差として前半を折り返す。

第3P、栄#5がポストプレイで加点、反撃ムードが盛り上がるが#14が早くも4ファール、昌平に優位な状況に流れが傾くかと思われたが、ここから栄#13が本領を発揮する。この日初めてのゴールを決めると連続してドライブを決め、前半無得点だったのが嘘のように攻撃的になる。残り5分、栄#5のミドルシュートが決まり1点差。だが高さを欠いた栄は昌平#6のインサイドを止められない。再び昌平が5点差に広げる。しかし勢いを取り戻した栄は#5のインサイド・#13の1対1で食らいつく。昌平はリードは保つが突き放すこともできない。

第4P、昌平は#6にボールを集め手堅く得点を重ねる。残り8分点差は9点差となる。後がない栄は4ファールの#14をコートへ戻す。#14は期待に応じて昌平の得点が止まる。残り3分57-52、ここで栄#13が3Pシュート・ドライブを決めて同点とする。昌平も負けじと#7が3Pシュート・#6へのアリウープで5点差に(残り1分30秒)。栄#13連続ゴールで1点差、しかし#14が5ファール退場。それでも残り18秒2ショットを決めて同点。残り4秒昌平#6がフリースロー、これが2本とも外れ延長へ。

OT、#14が不在の栄、昌平は#6でインサイドを狙うが攻撃が単調になり、かえってタフショットを打つことに。一方栄は#13が持ち前の得点力を発揮、ミドル・3Pシュートを決めチームを引っ張る。ルーズボールへの気持ちも昌平を上回りリードを広げる。終始主導権を握っていた昌平だが焦りのためかこれまでミスなく運んできた栄のゾーンプレスにここで捕まるなど脆さが出てしまった。栄の気迫の勝利だった。